■見性院(千代)　武将山内一豊の正室。様々な状況に，的確な判断と処理をして，夫の出世に貢献した。
けんしょういん
・・・・・・1557＝　近江国坂田郡飯村に生まれる。父は浅井家家臣若宮喜助友興，母は石川四郎の娘。本名は千代，まつ。

桶狭間の戦・1560＝ 3歳：

・・・・・・1566＝ 9歳：父が戦死したため，母の手ひとつで育てられるうち，

織田信長入京1568＝11歳：
たまたま，近くの豪家長野家に，山内一豊が母法秀院とともに，身を寄せていたことから，法秀院に仕えて気に入られ，

幼くして父を亡くし，縁故を頼った生い立ちも共通することもあって，
室町幕府滅亡1573＝16歳：**_山内一豊と結婚。夫は越前朝倉氏と戦い，重傷を負いながら敵将を討ち取り，近江唐国400石を領する。**
長篠の戦・・1575＝18歳：
夫の一大事の際に使えと父に渡された黄金10枚を一豊に渡し，名馬を求めさせた話は有名で，

石山合戦終・1580＝23歳：**_長女を出産するが，**
ﾊﾞﾘﾆｬｰﾉ謁見 1581＝24歳：織田信長が安土城下で馬揃を開催した時，その目にとまり，一豊の出世することになったともいわれるが，一豊の出世ぶりに妻の内助の功があったとしたい後世の作り話と見られる。
本能寺の変・1582＝25歳：
長久手の戦・1584＝27歳：***夫一豊が近江国長浜城主となり，城主夫人として役割が一気に拡大，**
豊臣秀吉関白1585＝28歳：**_夫一豊が，近江国主となった豊臣秀次の宿老の一人に選ばれるなど，人生で最も充実する時を迎えた矢先，江北大地震に遭遇，夫は在京中で，自らは助かるも，長女を失い，その乳母や家臣の多くを失う。**
ﾊﾞﾃﾚﾝ追放令 1587＝30歳：**_おそらく，妻が衝撃から立ち直れずにいるのを見かねた夫の配慮で，家臣の誕生まもない男子(夫自身の庶子かも)が捨子として拾われ，以後我が子のように養育，**

秀吉全国統一1590＝33歳：夫一豊は遠江掛川5万石の城主となる。
士農工商公布1591＝34歳：この年，秀吉の子鶴松が夭折，秀吉は鶴松のために，京都の大仏殿近くに，祥雲寺を建立し，快川紹喜の弟子南化玄興を開山に迎える一方，秀次を養嗣子にし，関白を譲るが，
方広寺大仏殿1593＝36歳：淀殿に男子が誕生して，情勢一変，

関白秀次事件1595＝38歳：謀叛の疑いをかけられた秀次は切腹，妻妾子すべても処刑される凄惨な結末となるを見るや，
26聖人殉教・1596＝39歳：**_その子を祥雲寺住職南化玄興に預けて出家させる。のち湘南和尚となり，土佐の吸江寺を中興する。**

関ヶ原の戦・1600＝43歳：***一豊が徳川家康に従って上杉景勝との戦に出陣中，石田三成の挙兵をいち早く一豊に知らせる。その文中で，大坂方の人質にされそうになったら自害するので，自分のことは心配しないで家康に奉公してほしいと覚悟を述べ，家康の前での評定で一豊が自分が先陣を切ると発言，妻子が大坂にいるため去就をためらっていた諸将はこぞって徳川方につき，大勝利に導いたという。その結果，一豊の評価は一気に上り，土佐一国20万石を与えられて入封。千代の功績は後々まで伝えられて行く。**
東本願寺創建1602＝45歳：
高知に入り，**_夫一豊が城と城下町，土佐藩を整備して行くのを眺めるのもわずかな期間で，**
阿国歌舞伎始1603＝46歳：夭折した長女を供養すべく，妙心寺に400石を寄進して塔頭大通院を修築。以後，山内家の菩提所となり，
徳川家康隠居1605＝48歳：養嗣子に迎えていた夫一豊の弟康豊の子忠義が家康の養女と結婚後，***夫一豊と死別，妙心寺の単伝士印から見性院の法号を受ける。亡き夫と娘の菩提を弔うとともに，寂しさを紛らすため，上洛を決意，**
江戸城完成・1606＝49歳：**_京都の桑原町に屋敷を構え，剃髪して尼となり，**
家康駿府退隠1607＝50歳：
山田長政渡航1611＝54歳：
藩から賄料として知行千石を与えられ，かつて育てた湘南和尚や夫一豊の妹らはもちろん，ともに後家となった高台院(北政所おね)と親しく往来しながら，**_悠々自適の生活を送り，**
大切にしていた料紙の箱はじめ形見の品々を忠義に贈り，知行のうち800石を大通院の湘南和尚に寄進，屋敷は忠義に進呈するという**_遺書を残して，**
徳川家康没・1616＝59歳：
吉原遊郭始・1617＝60歳：死去した夫と同年齢で**_没した。夫とともに妙心寺大通院に眠る。**

「人づくり風土記(高知)」，鈴木由紀子「女たちの戦国」，「この人どんな人」，「人物日本歴史館」，「日本の女性」，